

よいち町

2023.10
No.208



初議会が開催されました



8月28・29日に、町議会議員選挙後初の、第4回臨時会（初議会）が開催され、正副議長の選挙や各常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任などが行われました。議長には藤野博三議員が、副議長には岸本好且議員が就任しました。

第2回定例会・第3・4回臨時会の審議結果

○議会構成が決まりました P 2～4

- ・ 今回の町議会議員選挙から定数が16人、3常任委員会から2常任委員会となります。

○主な審議結果 P 5～7

- ・ 余市町監査委員（議会選出）に中井寿夫議員を選任
- ・ 農業委員会委員を任命同意
- ・ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書など6件の意見書を可決

○常任委員会の動き P 8～9

○一般質問 P 10～12

- ・ 5議員が町政全般について5項目を質問

議会構成が 決まりました

議長、副議長、各常任委員会等、改選後の議会構成をお知らせします。

町議会議員の任期満了に伴う選挙後、最初の議会（第4回臨時会）が8月28、29日に開かれ、議長、副議長の選挙、各常任委員会、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合等議会議員の選挙（4P参照）などが行われ、新たな議会構成でスタートしました。

議長に就任した藤野博三議員は、「今までの議長同様、これからも議会の皆様の意見を集約した中で議会運営をしてまいりたい。」と挨拶され、また、副議長に就任した岸本好且議員は、「副議長として議長を補佐し、町民の負託にしっかり応えてまいりたい。」と挨拶されました。

なお、今回の町議会議員選挙より、町議会議員の定数は18人から16人となり、常任委員会は、総務文教常任委員会、民生環境常任委員会、産業建設常任委員会の3常任委員会から、総務産建常任委員会、民生教育常任委員会の2常任委員会、委員定数はそれぞれ6人から8人となります。

副 議 長



きしもとよしかつ
3 番 岸本好且 (72)
よいち未来：当選4回
総務産建常任委員会

議 長



ふじのひろぞう
12 番 藤野博三 (72)
明政会：当選5回

議員の紹介

写真の下段の記載は、

議席番号・氏名・年齢（10月1日現在）・所属会派・当選回数・所属委員会（◎委員長、○副委員長）。

掲載順は議長、副議長を除き議席番号順で掲載しています。



さとうごうじ
4 番 佐藤剛司 (49)
明政会：当選1回
民生教育常任委員会



おもりかなえ
2 番 尾森加奈恵 (43)
よいち未来：当選1回
総務産建常任委員会
議会運営委員会



やまもとまさゆき
1 番 山本正行 (69)
よいち未来：当選2回
◎総務産建常任委員会
議会運営委員会

議 会 構 成



7 番 ^{なかい としお} 中井寿夫 (65)
明政会：当選 6 回
民生教育常任委員会



6 番 ^{しゅう げんりゅう} 庄 巖龍 (58)
明政会：当選 4 回
総務産建常任委員会
○議会運営委員会



5 番 ^{うちうみ ふ み こ} 内海富美子 (70)
明政会：当選 1 回
民生教育常任委員会



10 番 ^{いとう まさひろ} 伊藤正明 (74)
明政会：当選 2 回
総務産建常任委員会
議会運営委員会



9 番 ^{つちや みなこ} 土屋美奈子 (56)
よいち未来：当選 6 回
民生教育常任委員会
○議会運営委員会



8 番 ^{かわうち やさちえ} 川内谷幸恵 (45)
よいち未来：当選 1 回
民生教育常任委員会



14 番 ^{おおもの しゅう} 大物 翔 (39)
無会派：当選 3 回
総務産建常任委員会



13 番 ジャストミート
あたる (47)
無会派：当選 1 回
民生教育常任委員会



11 番 ^{かやね ひであき} 茅根英昭 (51)
明政会：当選 3 回
○民生教育常任委員会
議会運営委員会

図書館で会議録や委員会 記録が閲覧できます

議会だよりは一般質問や審議結果などを分かりやすくお伝えするため、内容を要約して掲載しています。

より詳しい内容をお知りになりたい方は、図書館に備え付けの会議録をご利用ください。



16 番 ^{てらだ すすむ} 寺田 進 (69)
公明党：当選 2 回
○総務産建常任委員会
議会運営委員会



15 番 ^{しらかわ え み こ} 白川栄美子 (68)
公明党：当選 7 回
○民生教育常任委員会

議 会 構 成

常任委員会・議会運営委員会の構成

総務産建常任委員会

委員長	山本正行
副委員長	寺田進
委員	尾森加奈恵
委員	岸本好且
委員	庄　　巖
委員	伊藤正明
委員	大物翔

民生教育常任委員会

委員長	茅根英昭
副委員長	白川栄美子
委員	佐藤剛司
委員	内海富美子
委員	中井寿夫
委員	川内谷幸恵
委員	土屋美奈子
委員	ジャストミートあたる

議会運営委員会

委員長	庄　　巖
副委員長	土屋美奈子
委員	山本正行
委員	尾森加奈恵
委員	伊藤正明
委員	茅根英昭
委員	寺田進

各会派の構成（3会派が結成されました）

◆明政会（7人）

会長	伊藤正明
幹事長	茅根英昭
事務局長	佐藤剛司
幹事	藤野博三
幹事	内海富美子
幹事	庄　　巖
幹事	中井寿夫

◆よいち未来（5人）

代表	土屋美奈子
幹事長	山本正行
幹事	尾森加奈恵
幹事	川内谷幸恵
幹事	岸本好且

◆公明党（2人）

代表	寺田進
幹事	白川栄美子

◆会派に所属しない議員

大物翔
ジャストミートあたる

議会選出の各種人事

- ◎余市町監査委員（議会選出）
中井寿夫
- ◎北後志衛生施設組合議会議員
藤野博三
岸本好且
- ◎北後志消防組合議会議員
藤野博三
岸本好且
- ◎北しりべし廃棄物処理広域連合議会議員
藤野博三
岸本好且
- ◎後志教育研修センター組合議会議員
茅根英昭
- ◎余市町表彰審議委員会委員
佐藤剛司
内海富美子
川内谷幸恵
寺田進
- ◎余市町都市計画審議会委員
山本正行
庄　　巖
- ◎余市町農業振興協議会委員
藤野博三
山本正行

審 議 内 容

令和5年第2回定例会 第3・4回臨時会

令和5年6月20日～22日に開催の第2回定例会での審議結果、5月26日開催の第3回臨時会、8月28・29日開催の第4回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

人 事

案 件

□余市町監査委員（議会選出）の
選任につき同意を求めること
について

中井寿夫氏を選任することに
同意しました。



中 井 寿 夫 氏

□余市町農業委員会委員の任命
につき同意を求めることにつ
いて

任期満了に伴う次の方々の任
命に同意しました。

(現) 有 田 均 氏
(現) 井 川 彦 氏
(現) 石 岡 渡 氏
(新) 梅 田 徹 氏
(現) 落 雅 美 氏

補 正

予 算

(現) 片 山 裕 一 氏
(現) 川 合 純 一 氏
(新) 坂 本 科 氏
(現) 曾 我 貴 彦 氏
(現) 土 居 義 和 氏
(現) 中 岡 博 晃 氏
(現) 細 山 正 己 氏
(新) 宮 野 秀 子 氏
(現) 山 本 秀 弘 氏
(新) 茅 根 英 昭 氏
(現) 野 呂 榮 二 氏

一般会計

□令和4年度一般会計補正予算
(第9号)【専決処分】
総額2億4113万円を追加

◆主な補正内容

○寄附に伴う各種基金積立金
3億1108万円

○各特別会計の決算見込みによ
る精算

・介護保険特別会計繰出金

△2901万円

・国民健康保険特別会計繰出金

313万円

・後期高齢者医療特別会計繰出
金
△771万円

・水道事業会計負担金

702万円

□令和5年度一般会計補正予算
(第1号)【専決処分】

1263万円を追加

◆主な補正内容

○新型コロナウイルス対策事業
・子育て世帯生活支援特別給付
金
1263万円

□令和5年度一般会計補正予算
(第2号)

総額4億9163万円を追加

◆主な補正内容

○各種基金への積立金
2億2429万円

○アイヌ政策推進事業

643万円

○新型コロナウイルス対策事業

・低所得者世帯緊急支援給付金
1億1164万円

・農業・漁業・水産加工業エネル
ギー価格高騰対策支援事業助
成金

1500万円

・学校給食費保護者負担軽減助
成金
495万円

○学校用備品

100万円

○再生可能エネルギー導入事業

3606万円

○町道湯内漁港線法面対策事業

1980万円

○峠下川護岸補修調査設計委託
料
1900万円

○円山公園サテライトオフィ
ス・テレワーク拠点整備事業
5090万円

□令和5年度一般会計補正予算
(第3号)

総額197万円を追加

◆主な補正内容

○地籍測量図作成委託料

197万円

審 議 内 容

特別会計

□令和4年度介護保険特別会計
補正予算(第3号)【専決処分】
総額1億9109万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、保険給付費、地域支援事業費の確定見込みによるもの

□令和5年度介護保険特別会計
補正予算(第1号)
総額7470万円を追加

◆主な補正内容

・介護給付費準備基金積立金によるもの

□令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)【専決処分】
総額2億9420万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、保険給付費、国民健康保険事業費納付金の確定見込みによるもの

□令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【専決処分】
総額1832万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、後期高齢者医療広域連合納付金等の確定見込みによるもの

□令和4年度公共下水道特別会計補正予算(第3号)【専決処分】
総額6620万円を減額

◆主な補正内容

・総務費、事業費及び公債費の確定見込みによるもの

□令和4年度水道事業会計補正予算(第5号)【専決処分】
総額175万円を追加

◆主な補正内容

・消費税及び地方消費税納付額の確定見込みによるもの

□令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)【専決処分】
総額51万円を追加

◆主な補正内容

・損害賠償請求事件に関わる訴訟弁護士委託料によるもの
【行政報告参照】

条例案

□余市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

□余市町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

子ども家庭庁の設置に伴い、所要の改正を行いました。

□余市町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税の減免措置に関する所要の改正を行いました。

□余市町議会委員会条例の一部を改正する条例案

改選後の議員定数削減に伴い、現在の3常任委員会を2常任委員会とし、委員定数をそれぞれ6人から8人とする改正を行いました。
【P2～4参照】

そ の 他	の 案 件
-------------	-------------

○旧余市福原漁場防災施設改修
第Ⅲ期工事

契約金額 5093万円
工期 自 令和5年6月1日
至 令和5年11月30日
請負業者 株式会社ゴウダ蛇田
支店

□町有財産の取得について

除雪作業車（ロータリ除雪車）を新たに購入しました。

価格 2695万8840円
取得先 北海道川崎建機株式会社
社俱知安支店

□余市町議会会議規則の一部を改正する規則案

改選後、一般質問における一問一答方式を本格導入するため、所要の改正を行いました。

□損害賠償に係る和解及び損害賠償額の決定について【専決処分】

町道での自動車破損事故による損害賠償に係る和解及び損害賠償額について了承しました。

□工事請負契約の締結について
良工事

契約金額 1億2155万円
工期 自 令和5年6月1日
至 令和5年12月25日

請負業者 赤石・中山特定共同
企業体

○令和5年度中央監視設備更新
工事

契約金額 8億7450万円
工期 自 令和5年6月1日
至 令和9年3月12日

請負業者 道富士・城野特定共同企業体

○令和5年度橋梁補修工事（第2富沢橋）

契約金額 6523万円
工期 自 令和5年6月1日
至 令和6年2月29日

請負業者 中村建設株式会社

行政

報告

□損害賠償請求事件について
〔令和5年5月26日開催第3回臨時会〕

本町に勤務していた職員より、本町の安全配慮義務違反の結果、損害を被ったとして余市町に賠償を求められたもので、原告代理人弁護士より訴訟が提起され、令和5年5月10日付で札幌地方裁判所小樽支部より文書が送付されたところ です。

今回の事件では、原告が弁護士を訴訟代理人として訴えを提起されたことから、町といたしましても専門的知識を有する弁護士に令和5年5月15日付で訴訟委任を行い、対応したところ です。

□損害賠償について

〔令和5年8月29日開催第4回臨時会〕

本年6月に本町が管理する道路上において自動車破損事故が発生し、当該自動車の損害賠償について、関係者と示談交渉を行ってまいりましたが、損害賠償額について示談が成立したこ

とから、その概要についてご報告申し上げます。

今年の冬は例年にもまして寒暖が激しく、急激に雪解けが進み、日中にできた大量の雪解け水が舗装のひび割れにしみ込み、夜間の気温低下で凍結拡張しひび割れが進み、そこを通過する車の重みで路面の一部が崩れ、穴が発生したことにより事故が発生したものでございます。

事故の概要につきましては、令和5年6月19日に町道種谷山田線の美園町484番地11付近において、走行中の車両が道路の穴でタイヤがパンクしホイールの一部を破損したものです。

事故発生後の経過ですが、事故発生後、現場の穴の補修を早急に実施するとともに、他の道路の路面状況も併せて点検を行い、再発防止に向けた穴埋め補修に取り組んだところであります。

その後、関係者と話し合いを行い、本町が損害賠償金を支払うことにより和解することで合意に至り、7月7日地方自治法第180条第1項の規定により和解及び損害賠償額の決定について専決処分したところであります。今後におきましては、町道の適正管理に、より一層努めて参る所存です。

議案に対する各議員の賛否一覧

地方自治法第96条で定める議決事件について、各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第4回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

件名	審議結果	明政会						よいち未来					公明党		会派に属さない議員	
		佐藤剛司	内海富美子	庄 巖 龍	中井寿夫	伊藤正明	茅根英昭	山本正行	尾森加奈恵	岸本好且	川内谷幸恵	土屋美奈子	白川栄美子	寺田 進	あジャストミート たる	大物 翔
専決処分の報告について	了 承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
令和5年度余市町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

※藤野博三議長は採決には加わりません。

要望意見書の審議結果

第2回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取組体制の強化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	厚生労働大臣
特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	文部科学大臣、財務大臣
地方財政の充実・強化に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣
学校給食の無償化を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
北海道最低賃金改正等に関する要望意見書	岸本好且議員ほか2人	原案可決	北海道労働局長

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

開会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

総務

文教

町立学校適正規模・適正配置基本計画策定について調査しました

【第16回】

(令和5年4月28日開催)

○町立学校適正規模・適正配置基本計画の策定について(所管事務)

余市町立学校適正配置等検討委員会の開催結果として計画へのパブリックコメント及び答申書の説明、さらに、これらを受け、定例教育委員会において、本計画を可決した旨の説明を受け、審議しました。

○余市町行政組織規則の一部改正について(所管事務)

地域活性化施策を総合的に調整、推進する体制を整備するため、総務部の企画政策課及び地域協働推進課を廃止し、経済部を総合政策部に改め、農林水産課、商工観光課に加え、新たに政策推進課を設置したことに伴い分掌事務の整理を行った旨の説明を受け、審議しました。

【第17回】

(令和5年5月18日開催)

○第7次余市町社会教育中期計画の策定について(所管事務)

第6次余市町社会教育中期計画が最終年度を迎えることから、今年度、本計画の検証や分析を行った上で策定を予定する第7次余市町社会教育中期計画の概要と今後のスケジュールについて説明を受け、審議しました。

○余市町地域防災計画の修正について(所管事務)

余市町地域防災計画について、国の指針や北海道地域防災計画等の見直しに合わせ整合性を図り、併せて防災に関する本町の様々な計画を整理し、一本化を図るよう修正を行い、さらに、業務継続計画(BCP)を新たに盛り込んだことについて説明を受け、審議しました。

○余市町情報公開条例及び余市町個人情報保護条例の運用状況について(報告案件)

令和4年度における情報公開条例による請求件数と処理状況さらに個人情報保護条例による請求件数と処理状況、個人情報の取扱状況、不服申立ての状況について報告を受けました。

【第18回】

(令和5年6月22日開催)

○連携協定の締結について(報告案件)

災害時の災害対応に係る応急対策や災害時以外での地域経済活性化について、航空機を活用した人員・物資等の搬送など、多様な輸送手段を確保することにより、迅速な被災者支援等に資することを目的としたSpace Aviation株式会社との連携協定の締結について報告を受けました。

【第19回】

(令和5年7月20日開催)

○余市味覚マラソン大会について(報告案件)

新型コロナウイルス感染症の影響から大会中止が続く、大会運営に関わる環境も変化した中で、大会サポート構成団体のスタッフの高齢化や会員数の減少により人材の派遣が困難で、参加者の安全面が担保できないことや参加者数の見通しがつかないことを踏まえ、実行委員会において、本年や今後の開催について、大会が担う一定の役割は終えたと判断し、大会終了を決定した旨の報告を受けました。

民生

環境

町営斎場建替事業について調査しました

【第19回】

(令和5年5月15日開催)

○福祉灯油助成事業の実施報告について(所管事務)

令和4年度の事業について、申請者896件、助成該当者842件で、令和3年度実績との比較では、ともに増加しているとの説明を受け、制度の速やかな周知徹底について求めました。

○北しりべし相談支援センター事業実績について(所管事務)

令和4年度の事業実績について、北後志5か町村で利用者は323人(うち余市町247人)で、支援実績は7003件(うち余市町5429件)との説明を受け、委員からは支援体制に関わり質疑があり、家族も含め相談しやすい体制づくりを目指すため、相談支援センターと協議をしたいとの答弁がありました。

○マイナンバーカードの交付状況と普及促進について(所管事務)

【第20回】
(令和5年6月8日開催)

令和4年度末において、人口1万7920人に対して交付数1万968枚、交付率61.21%。申請数1万3786人、申請率76.65%であるとの説明を受け、委員からは、申請時の対応や周知について質疑がありました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

町営斎場建替事業地質調査業務の概要の説明を受け、入札及び契約状況について資料を要求して確認し、近隣住民を対象とした説明会を全町民を対象に行うべきとの発言により、対象を拡大する旨、答弁がありました。

○低所得世帯緊急支援給付金事業について(報告案件)

○余市町クリーンセンター第3期計画について(所管事務)

第2期最終処分場の拡張と第3期最終処分場を新たに整備する場合の比較調査業務の内容について説明を受け、審議しました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

町営斎場の建替事業の適地としての都市公園予定地の課題を明らかにするため行う、地質調査業務の概要説明を受け、審議しました。

○在宅介護実態調査について(所管事務)

介護保険法・国の基本指針に基づき、第9期余市町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けて行う、在宅介護実態調査について説明を受け、審議しました。

○国民健康保険税条例の一部改正について(報告案件)

令和4年度分の保険税の納期限を延長して減免措置を講じる改正について報告を受けました。

○町営斎場建替事業について(所管事務)

7月11日に開催した地質調査説明会の結果について説明を受け、審議しました。

○余市町農道離着陸場の利活用について(所管事務)

農道空港の利活用に関わり、民間提案の募集を行った結果、北側にサウナエリア、ブドウ畑、展望タワー、駐車場、東側にシヨ

○道の駅再編整備について(所管事務)

協定の相手方である代表企業から、PFI方式ではなく、公設民営、指定管理による提案を受け、今後詳細協議を進める旨の説明を受け、審議しました。

○令和4年度除排雪等実績報告について(所管事務)

積雪・降雪状況、出動日数、実施期間など、令和4年度の除排雪等の実績について説明を受け、審議しました。

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)

令和5年度町道側溝布設及び舗装工事について(所管事務)

令和5年度の工事予定箇所について現地調査を行い、路線ごとの工事内容の説明を受け、現地調査終了後に審議しました。

○6次産業化推進に係る取り組み状況について(所管事務)

特産品のPR・広報活動、6次産業化支援など、6次産業化の推進に係る令和4年度に実施された事業の実績について説明を受け、審議しました。

○外部人材の活用状況について(報告案件)

○包括連携協定の締結について(報告案件)

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)

○円山公園ふれあい交流施設の利便性の向上について(報告案件)

○普通河川の護岸改修について(報告案件)

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)

○余市町再生可能エネルギー導入事業化調査について(報告案件)

○町道の通行止めについて(報告案件)



産業建設常任委員会現地調査

一 般 質 問

第2回定例会での一般質問は、5人の議員から5件の町政全般に対する質問がありました。

一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員みずからが要約し、その原文を掲載しています。

安久莊一郎議員

(日本共産党議員団)

補聴器購入の

助成について

質問 安久議員 この問題はこ

れまでも一般質問で取り上げており、前回の町長の答弁は、国で一律に制度を設計すべきというものだが、厚生労働省は、自治体における難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究を行い、令和3年3月に調査結果と提言を出し、提言では、自治体として取組を強化すべきこととして難聴を早期に見つける仕組みをつくる必要がある、急務としているが、本町として早期発見のための実態把握をどのように考えているのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 聴覚の障がい認定を受けていない加齢性難聴の方々への実態調査は現時点で実施する予定はなく、厚労省がそういう提言をしているのであれば、国として一律に制度を設計すべきというのが自治体としての立場です。

質問 安久議員 自治体独自の

購入助成制度が増え、それが国を動かし、国も難聴の取組で認知機能との関係も研究しているが、国が制度をつくらない間、難聴で苦しむ人をそのまま放置していいのかという問題があり、町民の苦難に対して何かしら前進することが大事で、それが地方自治体の役目と考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 本町のかじ取りを預かる身としては、どこに予算を振り分けるかは非常に考えており、各自治体の状況を見ても実施しているのが0・7%、7自治体であるので、各地方自治体に本件の実施を託すのではなく、国において一律に制度設計すべきと考えます。

質問 安久議員 厚労省もそれでは駄目だとしており、昨年4月から助成を始めた根室市では、担当者の予想を超える利用で、事業効果の高さを実感していると言っており、市民税課税世帯で自己負担22万円と非常に厳しくても補聴器を利用していることから、何とか一歩でも財政の範囲内で進めることは考えられないのか。

答弁 齊藤町長 本件は、難聴が社会的な課題であると厚労省が提言して、自治体がやりなさいということですが、そういう

提言をするのであれば、きちんと厚労省も予算を用意してくださいということであり、国として制度設計をしないと、自治体としては厳しいものがあります。

~~~~~

## 大物 翔議員

(日本共産党議員団)

### 乳幼児健診の 在り方について

質問 大物議員 本町の乳幼児健診の在り方、形式などに関わり、次の事項を伺いたい。

- ①乳幼児健診実施案内の発送のタイミングと内容について。
- ②子どもたちの食事や保護者の仕事の都合を考え、健診時間は受付を含め昼ままだぎを避けるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ③現状子どもたちは何もない環境での長い待ち時間があり、子どもと保護者の心身の負担を減らす工夫が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- ④予定や行動に関する明確な情報が会場に掲示されていれば、同じ待ち時間でも心理的負担の軽減につながると考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ①4か月、10か月健診は3月から11月に誕生



乳幼児健診（4か月・10か月健診）



のお子さんで生後1か月をめぐりに、12月から2月に誕生のお子さんは3月末に、1歳6か月児健診は対象年の3月、3歳児健診は健診の二、三か月前に、健診時に持参する受診票やアンケートを同封して案内しており、内容は健診日程、会場、健診内容、必要な持ち物について案内し、3歳児健診は自宅での視力聴力検査等についての説明の案内もしています。

②余市医師会、余市歯科医師会を通じて健診医の依頼をしていますが、病院の診察時間外の中でお願ひしており、診察前に身体測定等もあるため、現在は12時頃にまとめて行っています。

③以前は玩具、絵本なども用意していましたが、コロナ禍で取りやめており、今後は状況を見極め再開に向け検討します。

④保護者の方に分かりやすく周知するよう案内や掲示に努めます。

質問 大物議員 ①近隣町村では2週間から2か月前くらいにやっており、健診の一月ないし一月半前くらいに毎月発送する形にしてはどうかと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ①どういうやり方が一番適しているかは担当課で検討することだと考えます。

質問 大物議員 ②健診を受けるお子さん、保護者を発想の出発点とすれば、今のやり方ではないのかという問題も出てくると考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ②順々に来てもらう時間をずらすなど、オペレーションで改善できる問題であり、担当には指示しております。

### 岸本 好旦議員 (よいち未来)

## 本町農業後継者の 確保対策について

質問 岸本議員 現在の農業の担い手不足の深刻な現状を踏まえ、早急に対策を講じなければならぬ中で、家族や親族以外が後継者となる第三者継承が定着しつつあり、本町の大切な基盤産業である農業をしつかり守り、発展させることにつながるかと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 第三者継承はマッチングとして有効な手法と考えており、関係機関と連携を図り、窓口である新規就農活動支援センターの活動強化に努め

ます。

質問 岸本議員 農業の人手不足問題には大きく分けて後継者不足と労働者不足の2つあると考えており、農協の組合員も確実に減少している現状をどう捉えているのか伺いたい。

答弁 齊藤町長 本町農業は、町としても主力産業として力を入れている分野であり、農水省も様々なマッチングのプラットフォームを整備している中で、農協や農水省とも連携しながら産地を守るよう引き続き取り組みます。

質問 岸本議員 一、二年放置した農地の営農復活には相当な労力と資金が必要であり、そうならないためにも親族の継承がベターではあるが、そうはいかない農業者については第三者継承をいま一歩積極的に推進する必要があると考えており、町の率先した関係団体との連携が必要と考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 マッチングプラットフォームの整備など後継者対策は農水省も考えており、労働力確保と後継者確保の両方の分野において、そのような仕組みと連携しながら町としてもきちんと対策に取り組みます。

質問 岸本議員 専業農家の平均年齢が全国でも相当上がり、

## 議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は12月中旬に開催の予定です。》

◆本会議は、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。

◆常任委員会や特別委員会については、委員長の許可を得なければ傍聴できないことになっていますが、プライバシーにかかわる審議など特別の事情がない限り傍聴を認めています。



※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧ください。議会事務局(TEL21-2132)へお問い合わせください。



令和2年で66・8歳、70歳以上が4割を超える状況で、本町も相当高いと考えるが、後継ぎがないといずれ経営を断念しなければならず、新規就農の方も立地条件のいいところを求めており、そういった条件が合わず取り残されているところが本町にも実際にあるので、後継者に特化した専門部署をつくるべきと考えるが、見解を伺いたい。

**白川栄美子議員**  
(公明党)

**障がい者支援**

について

**質問 白川議員** 障がい者支援に関わり、次の事項を伺いたい。  
①障がいのある人にも地域で安心して暮らしていただけるように日頃困っていることや配慮してほしいことなどを解説した障がいサポートハンドブック（以下「ハンドブック」）の作成に

ついて令和2年第3回定例会で質問し、答弁では他の自治体を参考に検討することだったのが、どのように検討されたのか伺いたい。

②障がい者が入居する住宅が少ないと考えるが、見解を伺いたい。

**答弁 齊藤町長** ①ハンドブックは年内の完成を目指し、現在作成を進めております。

②特定目的住居は美園団地A、B棟に各1戸配置し、また、特定目的でない住戸も構造上一定程度障がい者へ配慮されていると考えており、今後も障がい者の入居申込み状況を注視します。

**質問 白川議員** ①ハンドブックはどういった方を対象に活用を考えているのか伺いたい。

**答弁 齊藤町長** ①啓発目的が大きいので、民生委員、区会、日赤などを中心に配布することになると考えますが、担当課として作成後に精査していきます。

**質問 白川議員** ①障がい者サポートー養成講座（以下「養成講座」）も併せて進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

**答弁 齊藤町長** ①理解促進のため様々な啓発事業はやっていく予定です。

**質問 白川議員** ①養成講座の中でもハンドブックを活用して

いくのか伺いたい。

**答弁 齊藤町長** ①今後できから考えますが、ある以上はそれを使うのは当然と考えます。

**質問 白川議員** ②障がいのある方は雪投げが大変なことから、美園、黒川団地の入居希望が多く、そういった団地に多く入居できるようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。

**答弁 齊藤町長** ②入居の選考は選考委員により行われ、障がいにより一定の考慮はされますが、選考基準に基づき選考されます。

**質問 白川議員** ②基準に基づくのは分かるが、入れる件数が少なく、そこを増やす配慮が必要と考えるが、見解を伺いたい。

**答弁 齊藤町長** ②特定目的住居以外も申込みはでき、一定の戸数は確保しているので、基準は担当課で随時状況に応じ検討します。

**山本 正行議員**  
(よいち未来)

**本町職員の時間外労働の実態と職場環境について**

**質問 山本議員** 近年国では働

き方改革が叫ばれており、公務員も例外ではなく、長時間労働の是正、働きやすい職場環境が期待されている中、本町としても取組が必要と思われるが、自治体職員の仕事内容は年々多岐にわたり、業務量も膨大になっており、部署によつては恒常的な長時間労働や休日出勤が見受けられると聞いており、このようなか、本町職員の時間外労働の実態と職場環境について伺いたい。

**答弁 齊藤町長** 時間外労働の実績につきましては1人当たりの年間時間数が令和2年度108・8時間、令和3年度113時間、令和4年度121・2時間となっており、議員ご指摘の自治体職員の業務内容は年々多岐にわたり、さらに近年は新型コロナウイルス対応などにより一時的に業務量が多くなつた部署もあることは認識していますが、今後コロナ後の状況を見極めながらワーク・ライフ・バランスの充実のため働きやすい職場環境の整備に努めます。

**質問 山本議員** 約3年前の定例会で一度質問しているが、月60時間から80時間の残業になるといういろいろな病気にかなりやすい時間数、さらには100時間

を超えると過労死の危険な時間数という目安で、平均がそんなに高い数字ではない実態も分かっているが、万が一、一部に偏つた超過勤務をしている職員がいて、それが危険な状態になつて、事故が起きてしまえば大変だという思いで今回質問しております、いま一度見解を伺いたい。

**答弁 齊藤町長** 1人当たりの年間の時間数はそれほど多くないのが実際にデータとして出ており、議員が心配しているのは、特定のところに偏らないようにということなのだと思いますが、その辺は管理職のほうできちんとマネジメントすることだと思つていきます。

**質問 山本議員** 職員の労働環境、労働条件の調整、協議は余市町職員労働組合があり、管理職は管理職の立場もあるが、全ての職員が健康で、楽しく働けるような職場環境にするよう努力をしていただきたい。

**答弁 齊藤町長** 職員の健康管理を含めきちんと見ており、守るのは当然の使命ですので、引き続きそのように取り組むつもりです。

## 自治功勞表彰受賞 ～北海道町村議会議長会表彰～



令和5年6月15日、町村議会議員として15年以上の在職により、地方自治の振興発展に寄与した功績に対し、藤野博三議員が、北海道町村議会議長会会長から表彰されました。

## 議会のホームページを 開設しています



余市町議会のホームページを随時更新し、会議の予定、審議結果、会議録、議会だよりなど、議会からの情報発信に努めています。

さらなる充実に向けて忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

ご覧になる場合は、余市町公式ホームページの「余市町議会」のバナーをクリックしてご覧ください。

<http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

余市町議会

検索

## 議会日誌

### 5月

- 23日 鹿児島県奄美市議会視察来訪
- 24日 後志町村議会議長会臨時総会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 第3回臨時会
- 26日 議員協議会
- 29日 後志総合開発期成会定期総会

### 6月

- 1日 議会運営委員会
- 6日 産業建設常任委員会
- 8日 民生環境常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 後志町村議会議長会臨時総会
- 15日 北海道町村議会議長会定期総会
- 19日 議会運営委員会
- 20～22日 第2回定例会
- 20日 議員協議会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 議員協議会
- 22日 総務文教常任委員会
- 23日 北海道新幹線建設促進期成会総会
- 23日 北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会総会
- 23日 後志総合開発期成会要望行動
- 26日 後志総合開発期成会北海道要望行動
- 29日 後志総合開発期成会中央要望行動

### 7月

- 4日 北海道町村議会議長会議員研修会
- 6日 徳島県吉野川市議会視察来訪
- 7日 北後志消防・衛生施設組合議会
- 10日 後志町村議会議長会役員会
- 18日 北しりべし廃棄物処理広域連合議会
- 20日 総務文教常任委員会
- 24日 民生環境常任委員会

### 8月

- 6日 余市町議会議員選挙
- 10日 国道229号余市・岩内・島牧間整備促進期成会総会
- 21～22日 議員協議会
- 28～29日 第4回臨時会
- 28日 議員協議会
- 29日 総務産建常任委員会
- 29日 民生教育常任委員会
- 29日 議会運営委員会

### 9月

- 1日 北後志町村議会議長会臨時総会
- 4日 総務産建常任委員会
- 5日 民生教育常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 15日 総務産建常任委員会

## 編集後記

改選前に議会改革の一環として定数削減についての議論を重ねた結果、定数は18名から2名減じて16名と決定し、今回の選挙から適用され、常任委員会も改選前は3常任委員会、定数6人の構成でしたが、このたびから総務産建・民生教育の2常任委員会、定数8人の構成となり、濃密な審議が行われるものと考えます。

令和5年8月6日、余市町議会議員選挙が執行され、16名の議員が当選しました。投票の結果、投票率49.39%で、過去の議員選挙と比較すると投票率が低下しました。この原因は様々あると思いますが、今後実態を調査、分析していく必要があるのではないかと思います。

議会は、行政が執行する政策を監視するとともに、その政策が町民にとってプラスなのか、マイナスなのか議論しなければなりません。時代の変化とともに議会の機能が発揮できるように、多くの町民に議会に目を向けていただき、参加しやすい形をつくることが必要ではないかと考えます。

総務産建常任委員会  
委員長 山本正行